

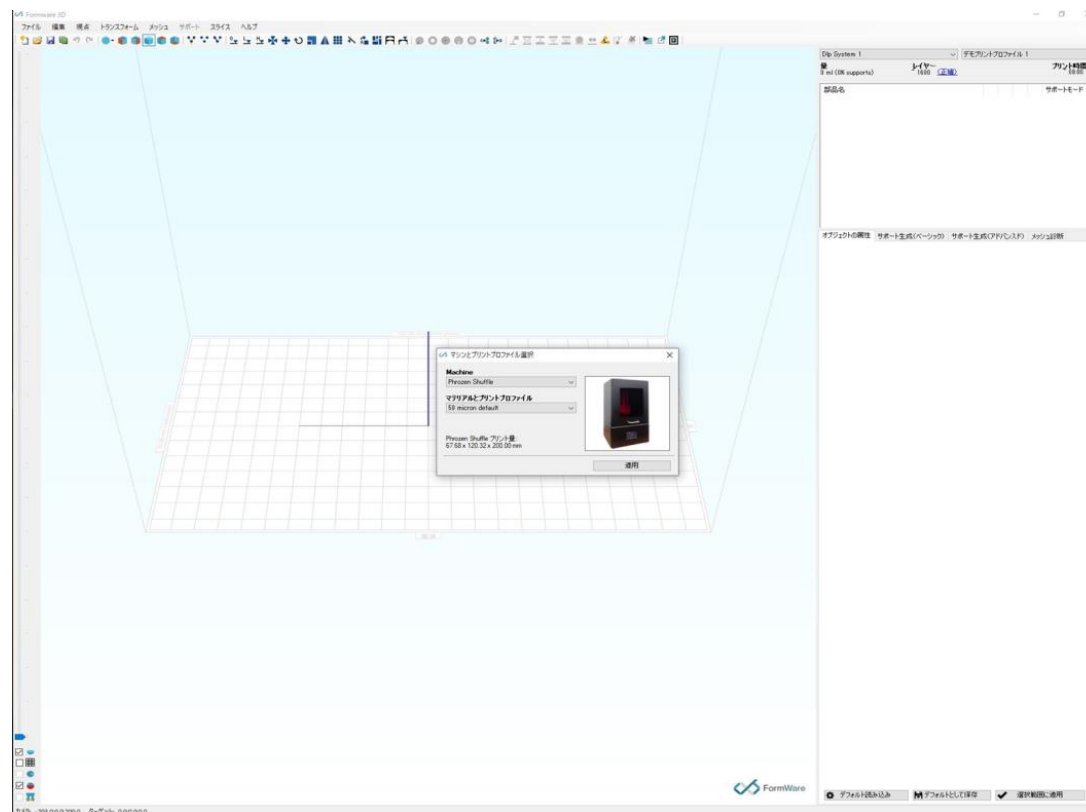
Formware3D 簡易説明書v.1.0

視点操作オブジェクト操作サポート取り付け
エクスポート、スライスについて

ソフトの起動画面

プリンターの設定とプロファイルを選択します。

(機種の種類は設定画面から追加可能)



モデルデータの読み込み

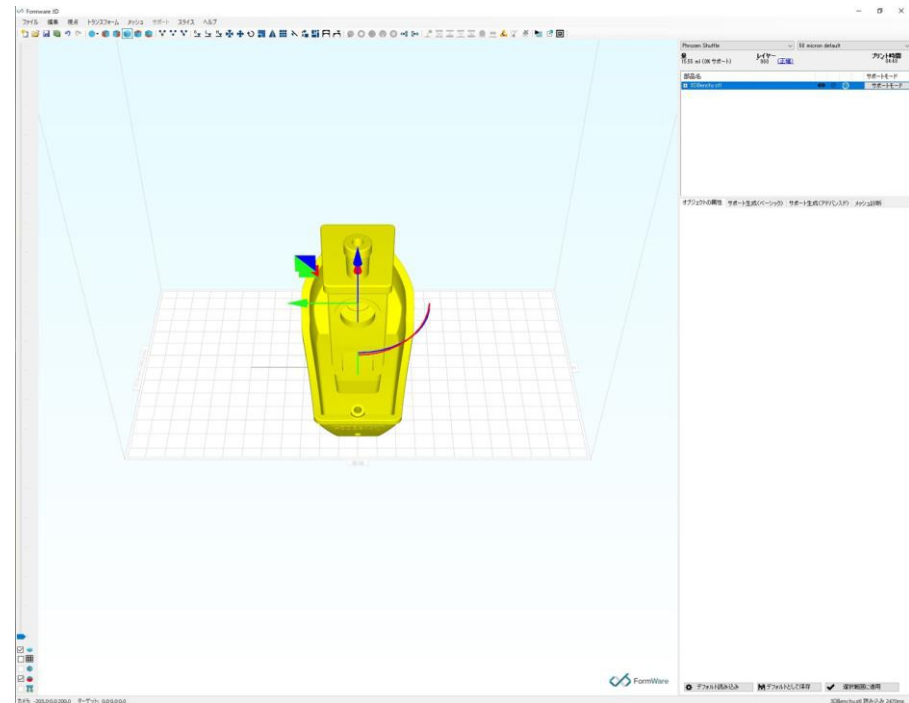
印刷したいファイルはドラッグ&ドロップで追加できます。

黄色⇒オブジェクト選択状態

青色⇒オブジェクト非選択状態

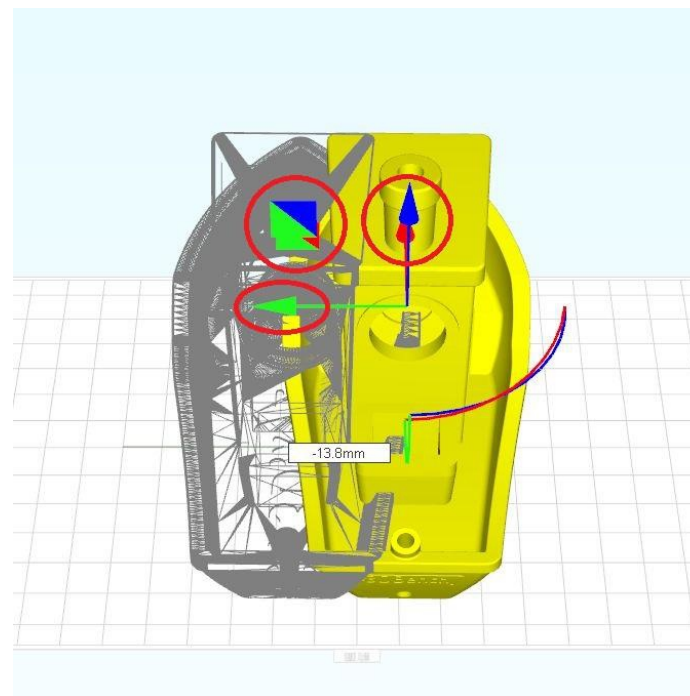
視点の操作

- 右クリックしたままドラッグで360度回転
- マウスホイールクリックしたまま、ドラッグで上下左右平行移動
- マウスホイール回転で前後に移動



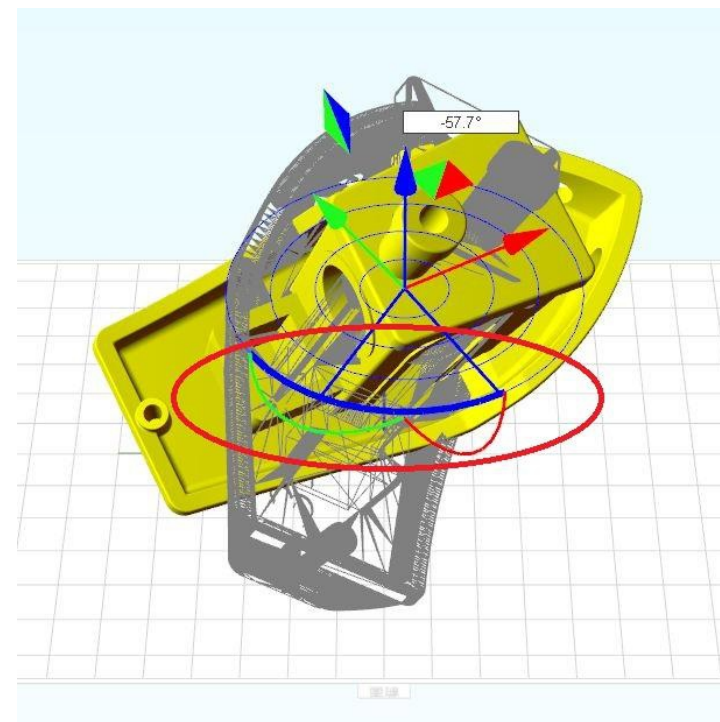
オブジェクトの移動と回転

- 右図の矢印を左クリックした状態でドラッグでそれぞれの軸に平行移動
- 四角マークのクリックとドラッグで自由移動



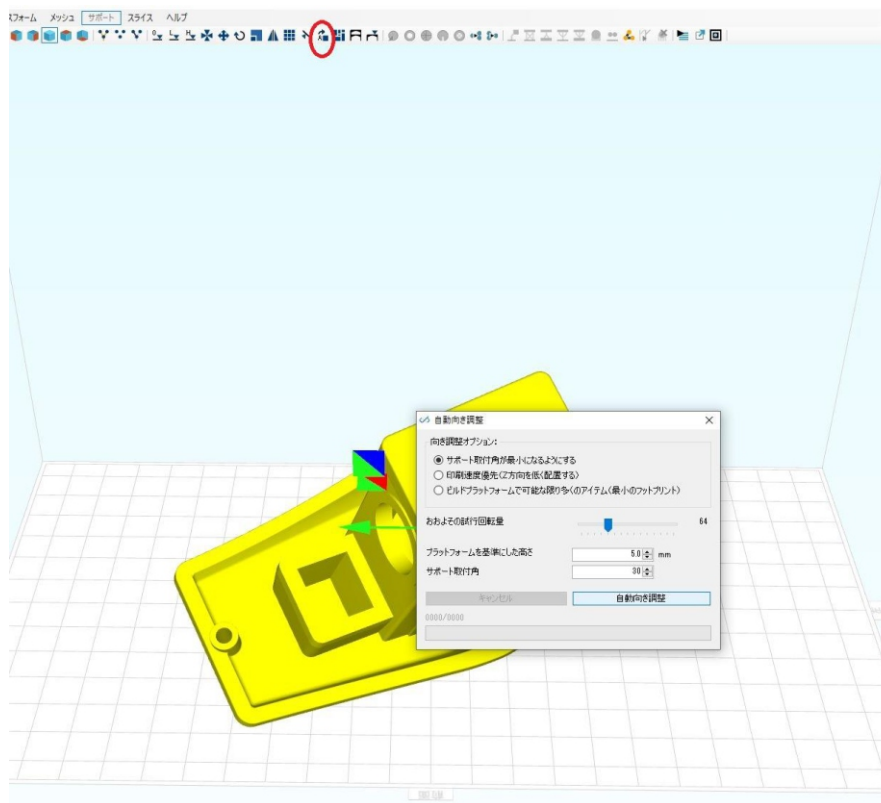
オブジェクトの移動と回転

- カーブをクリックした状態でそれぞれの軸に回転
- サポートが付いた状態でも移動回転できますが、極力サポート取付後は①XYに移動と②Z軸に回転の2つだけを推奨します。



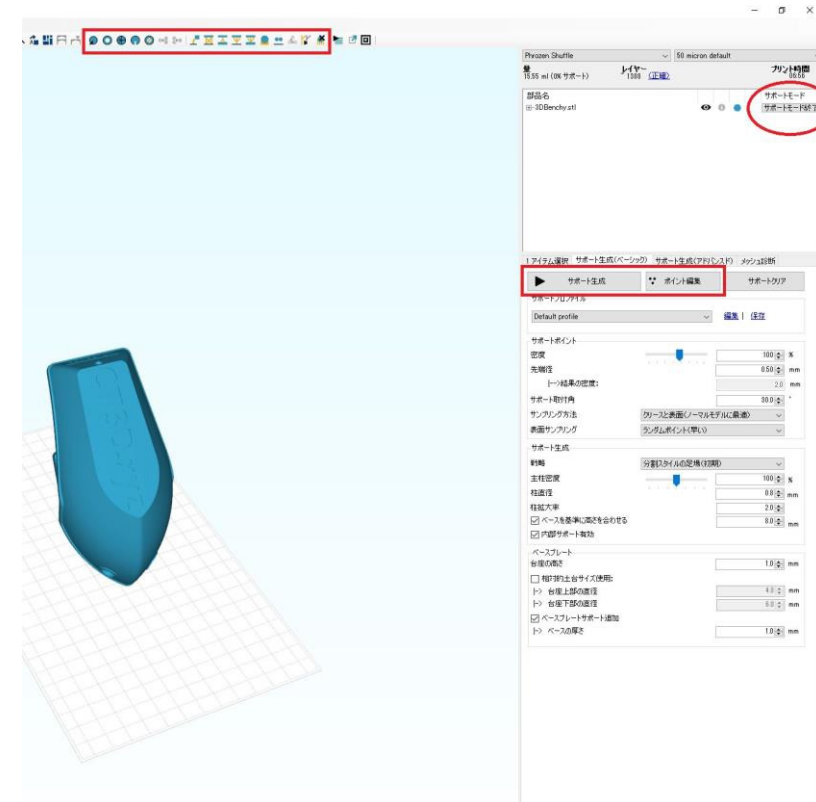
自動向き調整

オブジェクト選択状態で
自動向き調整アイコンを押すと
オプションが表示されます。



自動サポート

- 右図で赤く丸で囲ってある部分をクリック
⇒サポートモード、サポートモード終了切り替え
- サポートモード時に、右図の左上で四角で囲われているメニュー一覧の選択が可能です。

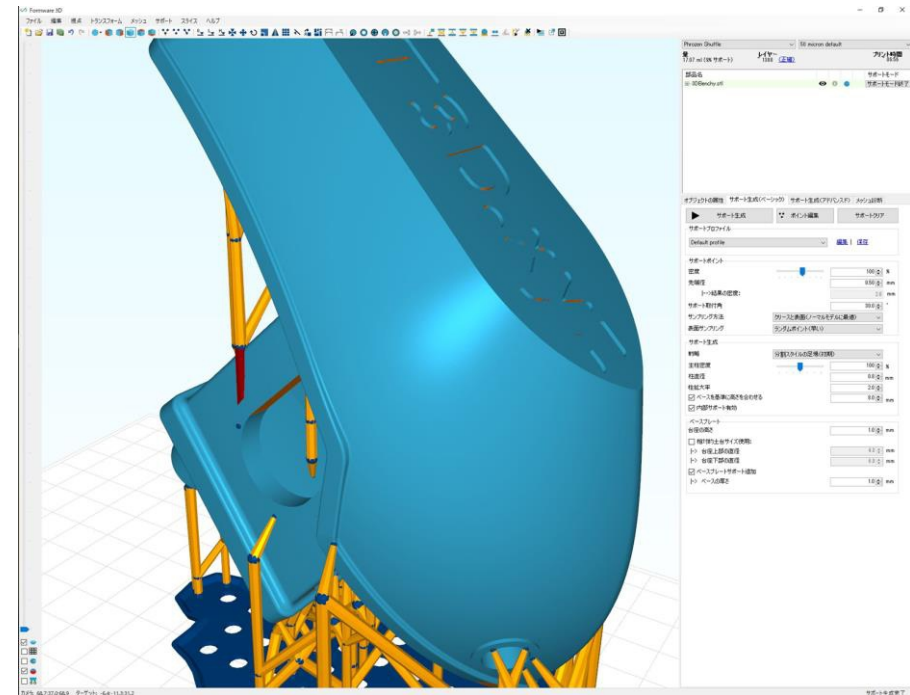


自動サポート

- サポート生成ボタンでサポート取り付け
- サポート生成⇒ポイント編集が基本的な流れになります。

*注意 ポイント編集のあとサポート生成を押すとポイント編集や手動サポートがリセットされます。

- 貫通箇所は赤で警告表示されます

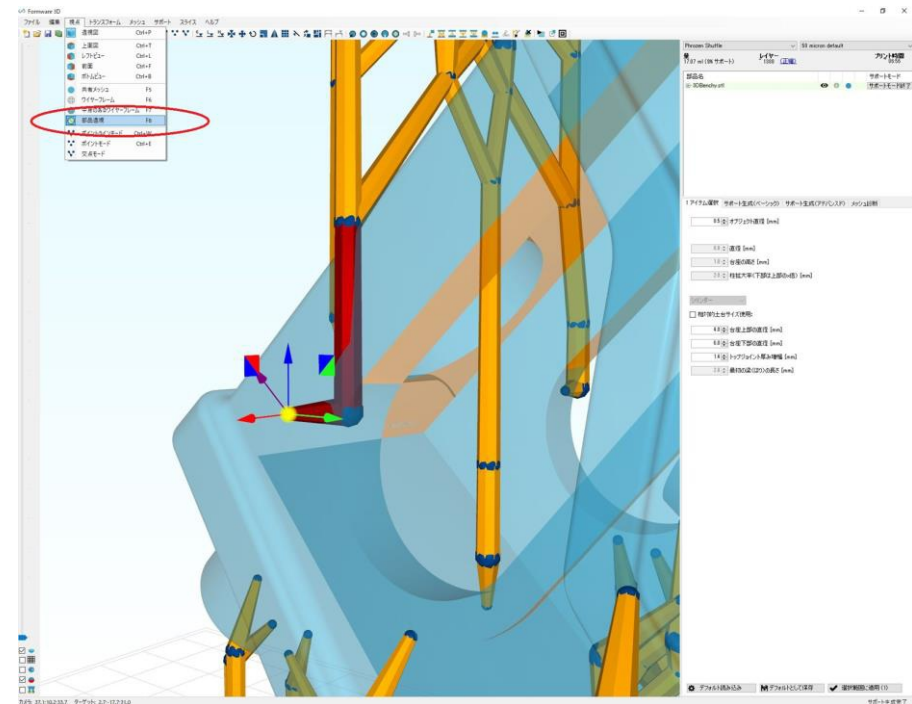


サポートの編集

- サポートはオブジェクトの移動のときと同様に動かすことが可能です。

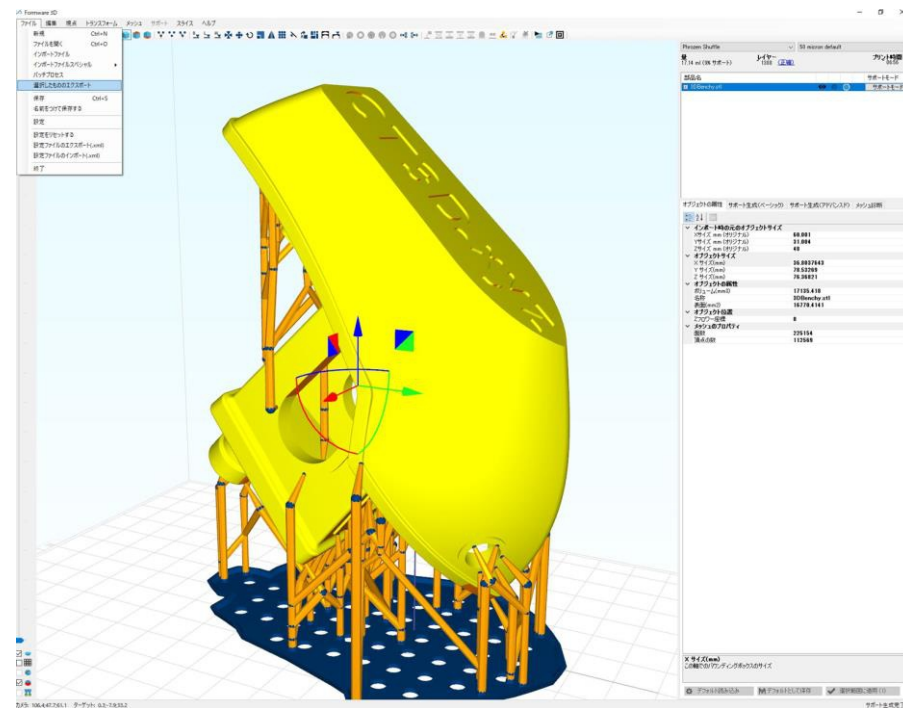
(右図だと柱の部分と青い球の部分を選択可能)

- その際、丸い赤で囲ってある部品透視ボタンを選択すると見やすくなり、編集しやすくなります。



エクスポート(STL)

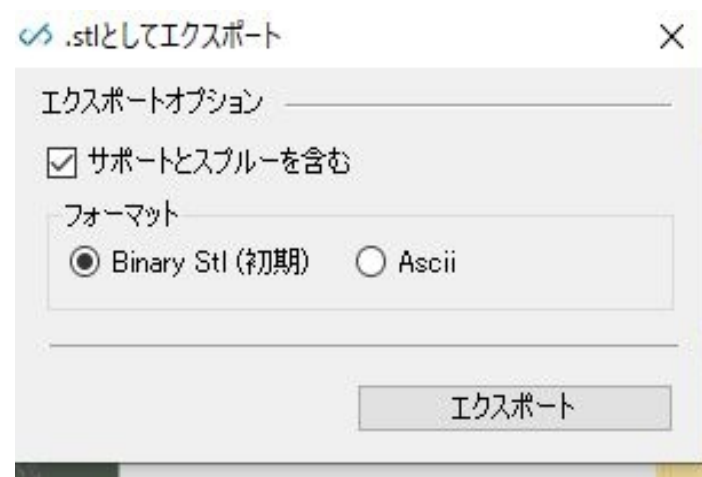
- ファイル⇒選択したもののエクスポートを選びエクスポート先フォルダとファイル形式(ここではstl)を選択してください。
- ウィンドウに従ってエクスポートを押せばエクスポートが完了します。
- 特段、設定の変更は必要ありません。



エクスポート(STL)

- エクスポート後は通常どおりスライスしてください。

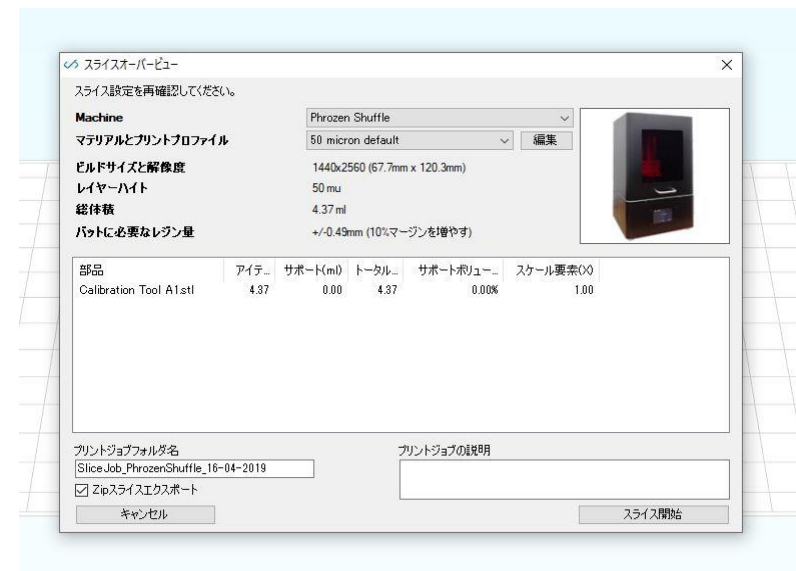
* STL形式の場合、ドレインホールは有効になりません。



スライス

- スライスを開始する⇒保存先フォルダを選択
- プリンタとプリントプロファイルを選択
- スライス開始で選択フォルダに保存されます。

* フォルダ名は半角入力が安定します。





サポート

formware3dでご不明な点がございましたら下記アドレスまでお問い合わせください。

formware3d@felidentia.com (formware3dサポート窓口)

2-3営業日以内にご返答いたします。

本ソフトはこちらでご紹介した内容以上の便利機能が盛りだくさんです。

日本語UIの訳文や、本説明書の充実化は順次アップデート予定です。

ご意見やアドバイスがございましたら上記メールまでお願いいたします。